

新たな年を迎え 謹賀新年 ぞ挨拶申し上げます

令和5年の新春を迎えて



北斗市長
池田 達雄

新年あけましておめでとうございませう。市民のみなさまには、輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では、安倍元首相が遊説中に襲われ、暴力による言論の自由の侵害や民主主義制度の在り方についてあらためて考えさせられました。新型コロナウイルスにつきましても、感染状況が落ち着きを見せたかと思いきや、再度、流行の波が押し寄せ、なかなか収束する兆しが見えず、重ねて、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した、今まで経験したことのない、原油高や物価高を招きました。

よる局所的な大雨があり、特に2月の大雪被害については、本市におきましても、吹雪によるホワイトアウトが発生し、函館・江差自動車道にて約80台の車が立ち往生する事態となりました。これまでの経験からは予測がでないような災害がいつ、どこで発生するかわからないという危機意識を強く持つたところがあります。

このように、さまざまなことがあった一年でございましたが、本市におきましては、市民のみなさまが少しでも明るい毎日を過ごせるよう、また、市内事業者のみなさまが少しでも安心して事業を展開できるよう、一つひとつ丁寧な各種施策に取り組んでまいりました。

例えば、新型コロナウイルス対策につきましては、ウィズコロナを意識し、感染対策に万全の体制で臨み、3年ぶりに各種お祭りやイベントが再開され、同時に、第4弾目のほくと地域応援券の発行で、経済活動再開の後押しを図りました。

また、原油高・物価高対策につきましても、市内全世帯を対象に水道基本料金を6か月間免除するほか、市内事業者を対象として、下水道基本使用料を3か月間免除しております。さらに、家計が急変した世帯や売上が激減した事業者等にも、国や道の制度に上乗せする形で支援を実施しております。

災害対策につきましては、大雨時に使用する吸水ポンプを5台増設し、防災資機材の充実を図ったほか、防災ラジオを通して避難情報を届ける情報伝達の方法を多岐にわたるため、戸別受信用電波中継施設の整備工事を実施しております。その他、大雨が予想される場合の細かな情報連携や高規格道路のホワイトアウト対策など、国や道と連携して取り組んでいるところでございます。

さて、私にとりましては、二期目の北斗市政を担わせていただいているから、間もなく1年が経過しようとしております。

この間、市民のみなさまと約束した公約を実現すべく、市民目線に立ち、市民による市民のためのまちづくりを基本とし、

「誰一人取り残さない社会の実現」いわゆるSDGsの理念をもとに、まちづくりを進めてまいりました。

誰もが安心して子育てができるよう、本市は、高校卒業までの医療費無償化など、子育て支援策が充実しておりますが、昨年から第2子以降の給食費完全無償化や交通費を含めた不妊・不育治療費の完全無償化、通学定期補助制度の拡充などを二期目の公約として取り組ませていただきました。その他、市内において育てたブドウからワインを醸造する事業者を支援し、ワインを活用した地域振興に着手したほか、一人ひとりが互いの個性や多様性を認め合い、自分らしく誇りをもって暮らせるまちづくりを推進するため、パートナーシップ制度の導入についても検討しております。

これらの施策は、一朝一夕で浸透していくものではございませんが、本年も引き続き、各種施策を着実に進めることにより「住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい」と思っていただけの北斗市にしていきたいと考えております。市民のみなさまにおかれましては、引き続き、市政へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年がみなさまにとって幸多き一年となることを祈念申し上げます。また、新年のご挨拶とさせていただきます。



北斗市議会議長
中井 光幸

令和5年の日々が平穏であることを願って

新年あけましておめでとうございませう。北斗市議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民のみなさまにおかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えになられていることとお慶び申し上げます。また平素より、市議会の活動や北斗市政の推進に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も発生から4年目となり、昨年は、1月の第6波、そして7月から第7波と波が変わるたびにまん延し、特に第7波においては事前の予想を大きく上回り大流行になってしまいました。国内での感染者数が20万人を超える

日が多くなりました。国による、まん延防止等重点措置の適用も第6波をもって終了し、その後はみなさまご承知のとおり、全国旅行支援などが始まり、コロナ禍前までとはいかないまでも目に見えて人の流れが分かるようになってきました。当市議会にも全国の市議会や、東京都議会より委員会や会派で10議会の議員のみなさまが視察研修でお越しいただき、本年2月にも他市議会より視察予定が入っております。また、私たち市議会としても3年ぶりに各種研修会や議員視察研修を実施することができました。さまざま研修をし、議員個々に学んできたことは、研修報告書として提出しており、今後の北斗市のまちづくりに活かしていきたいと思っております。

現在は、まだ新型コロナウイルスの特効薬は出てきておりませんので、これまで通りルールを守っていくことを再認識して慎重に行動すること以外にないと思っております。

昨年は、何とんでもロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、世界中に強い衝撃が走りました。力による現状の変更はあってはならないことです。この戦争で多くのウクライナ国民が犠牲になりました。まだまだ増え続けており、一刻も早く終結することを願わずにおられません。

明るい話では、昨年2月から3月にかけて開催された北京2022冬季オリンピック・パラリンピックにおいて日本選手活躍により多くのメダルを獲得しました。そして、圧巻はカターレFIFAワールドカップサッカー1次リーグにおいて強豪のドイツやスペインを破り決勝トーナメントに進み、ベスト8をかけた戦いではクロアチアにPK戦で惜しくも敗れはしたものの、日本選手その活躍には感動と勇気をもらいました。

市議会におきましては、今年4月に行われる統一地方選挙で改選となります。

北斗市誕生から第5期目の議会でありましたが、新しく船出をしたときから議会改革を念頭におき、より市民に開かれた議会として進めるために議会改革

特別委員会を立ち上げました。議会として抱える課題について見直しを含め、各議員より意見を出していただき、一つひとつ検討をいたしました。その検討結果として、議員定数については、次期議会より2人減の20人とすることに決定いたしました。若者や女性が立候補することを期待いたします。また、次の時代につなぐためにICTの活用やタブレットの導入を考えて特別委員会を発足させて、若手の議員を中心に検討をしてまいりました。

この3年間は、コロナ禍という特殊な事情により、言い訳がましくなりますが議会として、また議員として市民のみなさまとの結びつきが浅くなったことに対して深くお詫びを申し上げます。市民のみなさまの声や、ご意見を拝聴させていただいて、委員会や本会議において行政側と何度も論議を重ねて、そのことを意見として市政に反映させることが議員や議会の務めと思っておりますので「いま議会に求められていることは何か」「これを常に頭に置き、これからも前に進まなければならぬ」と思っております。

結びにあたり、市民のみなさまにはこの4年間、議会に對しましてのご支援とご協力に感謝を申し上げますとともに、健康で毎日を元気に過ごせますことをご祈念申し上げます。新年を迎えるの挨拶といたします。